

重症熱性血小板減少症候群（以下、「SFTS」という。）について

主にウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染し、重症化すると死に至るダニ媒介性人獣共通感染症です。

今般（平成 29 年 7 月 24 日）、発熱・衰弱等に加え血小板減少等の所見が見られた飼育ネコ及び飼育イヌの血液・糞便から SFTS ウイルスが検出された事例並びに体調不良のネコからの咬傷歴があるヒトが SFTS を発症し死亡した事例を厚生労働省が公表しました。

ネコに咬まれたことが原因で SFTS ウイルスに感染したかどうかは明らかではありませんが、SFTS の注意喚起や Q & A など詳しい情報が厚生労働省のウェブサイトに出ていますのでご覧ください。

なお、SFTS の患者は西日本を中心に発生しており、本県での発生は認めていません。また、本県の犬猫から SFTS ウイルスを検出したという報告もありません。

[重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に係る注意喚起について（厚生労働省ホームページ）](#)

[重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省ホームページ）](#)

[重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について（厚生労働省ホームページ）](#)